

学術講演会前刷集正誤表

文献No.20095511 学術講演会前刷集No.107-09 講演No.111

(誤)

- ①第5ページ 本文2段目 6行
綿厚さが50,100 mmの場合では,
- ②第5ページ 本文2段目 26行
綿厚さが50,100 mmの場合では,

(正)

- ①
水素流量が50,100 NL/minの場合では,
- ②
水素流量が50,100 NL/minの場合では,

学術講演会前刷集正誤表

文献No. 20095515 学術講演会前刷集No. 125-09 講演No. 205-20095515
二輪車の操縦特性調査

① P 2 13行目

(誤) 50Hz

(正) 1Hz

② P 4 13行目

(誤) スタビリティファクタ (deg s² / m²)

(正) スタビリティファクタ (s² / m²)

③ P 4 Table 1

(誤)

radius/lean	geometric steering angle(deg)	stability factor (deg s ² /m ²)
20/with	4.30	-0.00974
30/with	2.86	-0.00516
50/with	1.72	-0.00215
50/with	1.72	-0.00215
50/out	1.72	-0.00305
50/in	1.72	-0.00180

(正)

radius/lean	geometric steering angle(deg)	stability factor (s ² /m ²)
20/with	4.30	-0.00227
30/with	2.86	-0.00180
50/with	1.72	-0.00125
50/out	1.72	-0.00177
50/in	1.72	-0.00105

学術講演会前刷集正誤表

文献 No. 20095521

学術講演会前刷集 No. 109-09

121 噴霧性能が壁面衝突挙動に及ぼす影響に関する研究 正誤表
場所: 萩(2F) 時間: 9:30~12:10 S.Iエンジン・制御

下記の通り誤りがありました。お詫びし、訂正させていただきます。

ページ	場所	誤	正
2P	24行目	150ns	180ns
3P	図5 Time (ms)	6.0ms	6.5ms
4P	13行目	1.3m/s	1.2m/s
4P	13行目	約1/9	約1/10
4P	図8, 9 (凡例)	impinging	impingement

学術講演会前刷集正誤表

文献No.20095539

学術講演会前刷集No.97-09

講演No.59

(誤)

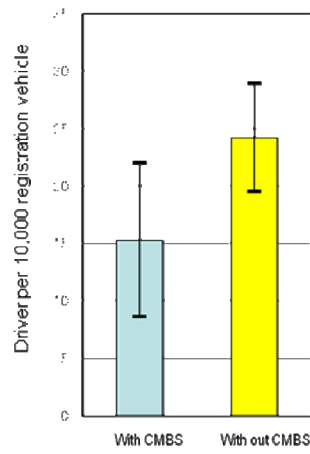


Fig.11 Estimation result

(正)

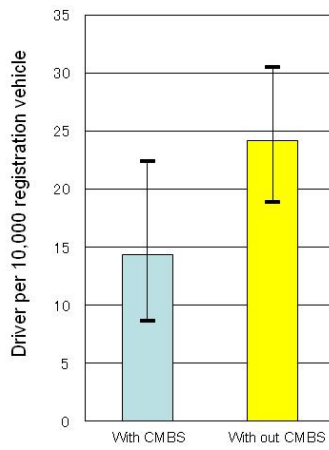


Fig.11 Estimation result

学術講演会前刷集正誤表

文献No.231-20095572

学術講演会前刷集No.130

講演No.231

文献タイトル：ディーゼル燃料噴射装置のボディシート部摩耗に関する研究

・ Fig.12 Deformation of body seat (120,200,240°C)にて
Acid400 μm 燃料の 240°Cでの変形量にプロットミスがございました。

(誤)

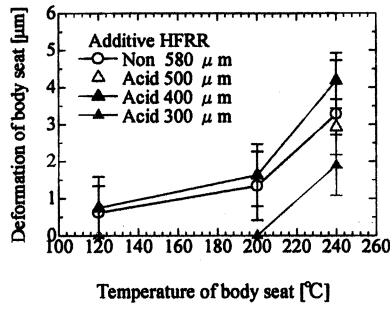


Fig.12 Deformation of body seat (120, 200, 240°C)

(正)

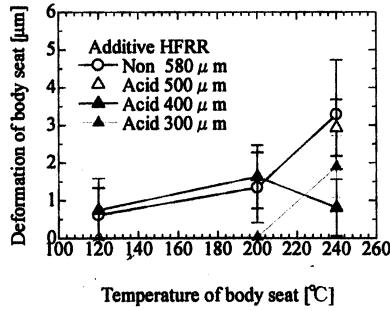


Fig.12 Deformation of body seat (120, 200, 240°C)

学術講演会前刷集正誤表

文献No.152-20095581

学術講演会前刷集No.115-09

講演No.152

(誤)

P.5 左段 9 行目

CAE解析モデルはL字型試験片と同じく、1 辺 0.5mmの 8 節点六面体要素にてモデル化した。

P.6 左段 8 行目

また、CAE解析で角稜部の内Rを算出するため、解析モデルを0.5mmの六面体ソリッド要素で作成したが、

(正)

P.5 左段 9 行目

CAE解析モデルは1 辺 1.0mmの 8 節点六面体要素にてモデル化した。

P.6 左段 8 行目

また、CAE解析で角稜部の内Rを算出するため、解析モデルを0.5~1.0mmの六面体ソリッド要素で作成したが、

正誤表

*

講演番号 214-20095612

表題 複数用途兼用デジタル信号処理 2 マイクシステム

P1, Fig. 2のタイトル

誤 Direct airflow from air conditioner

正 Microphone System using Digital Signal Processing with 2 Microphones block diagram

学術講演会前刷集・正誤表

キャビテーションピーニングを施した歯車の渦電流法による評価

関根 裕一（東北大学大学院），祖山 均（東北大学）

（文献 No. 93-20095616，前刷集 No. 104-09，講演 No. 93）

・ 2 ページ目 **Fig. 1** キャプション中

（誤） CSP → （正） CP

・ 2 ページ目 **Table 1** 中

Addendum modification coefficient （誤） 9 → （正） 0

・ 4 ページ目 **参考文献(9)**

「No. 16」と「(2009)」の間に記載ページ「p. 2254 – 2259」を追加.
修正後は以下の通り.

(9) Y. Sekine and H. Soyama: Evaluation of the Surface of Alloy Tool Steel
Treated by Cavitation Shotless Peening Using an Eddy Current Method,
Surface and Coatings Technology, Vol. 203, No. 16, p. 2254 – 2259 (2009)

学術講演会前刷集正誤表

講演No.254-20095637

「抗アレルギー技術」(The anti-allergen technology)

(英文要旨差し替え)

Recently the anti-allergen technology is becoming the focus of attention as one of the key factors to keep the environment of living space such as car interior comfortable. We will introduce the technical content of our anti-allergen "ALLER BUSTER" technology created by the high performance polymer material, which is applied in various fields.

1) 1 ページ目右側 10 行目

→スーパースクリプト (1) 削除

2) 2 ページ目右側 12 行目～21 行目

(修正前)

またこれらの技術については、「芳香族ヒドロキシ化合物を側鎖に持つ線状高分子を用いた抗アレルギー剤」として・・・

・・・常温化で発揮される抗アレルギー技術の繊維製品への応用実施には、本技術との組み合わせは必要不可欠なものです。

(修正後)

また、これらの技術については、「芳香族ヒドロキシ化合物を側鎖に持つ線状高分子を用いた抗アレルギー剤」および、「常温常湿でのアレルギー不活化効果」として発表されています。⁽¹⁾ 特に後者においては、繊維製品で自動的にアレルギーを抑制する為の条件として、弊社が本技術開発を開始したときに着想した基本概念を元に出願され権利化されております。また、実使用(常温・常湿度)下で発揮される抗アレルギー技術の繊維製品への応用実施には、本技術との組み合わせは必要不可欠なものです。

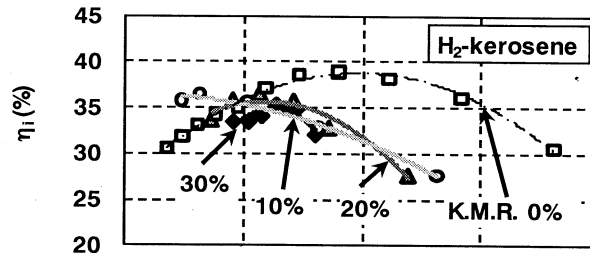
3) 3 ページ目右側参考文献 (1) 変更

(変更後)

(1) 鈴木：高分子を利用したアレルギー不活化技術 高分子. 58(6) p393 (2009)

以上

Fig.4 左上 (誤)



(正)

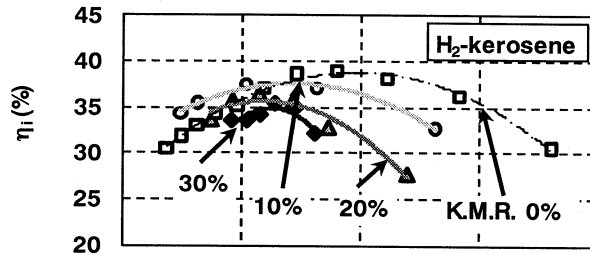
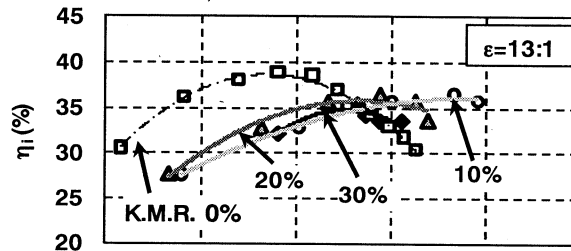
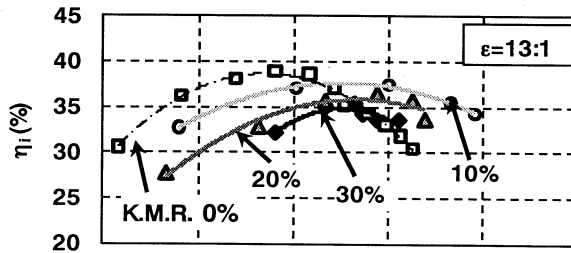


Fig.8 上 (誤)



(正)



学術講演会前刷集正誤表

文献No.20095662

学術講演会前刷集No.125-09

講演No.201

P5. 5行目

(誤) トータルギヤ比は14.3

(正) トータルギヤ比は15.3

学術講演会前刷集正誤表

文献No. 20095700

学術講演会前刷集No. 102-09

講演No. 85

(誤)

3 ページ左段組 12 行目

いずれの加工ヘッドも設計位置より焦点距離が長くなっているが、A社の加工ヘッドの方が、設計位置からのズレが少なく、出力の依存性も少ないことが分かった。

4 ページ左段組 3 行目

4. 試作溶接品の評価

4 ページ右段組 4 行目

5. ま と め

(正)

3 ページ左段組 12 行目

いずれの加工ヘッドも設計位置より焦点距離が短くなっているが、A社の加工ヘッドの方が、設計位置からのズレが少なく、出力の依存性も少ないことが分かった。

4 ページ左段組 3 行目

5. 試作溶接品の評価

4 ページ右段組 4 行目

6. ま と め

学術講演会前刷集正誤表

文献No.20095751

学術講演会前刷集No.122-09

講演No.190

P5 左 上から 2 行目, P5 左 下から 4 行目, P6 右 上から 8 行目, P6 右 下から 2 行目, および図 13 中に記載. (計 5 ヶ所)

(誤) : 4.9L

(正) : 4.8L

(誤)

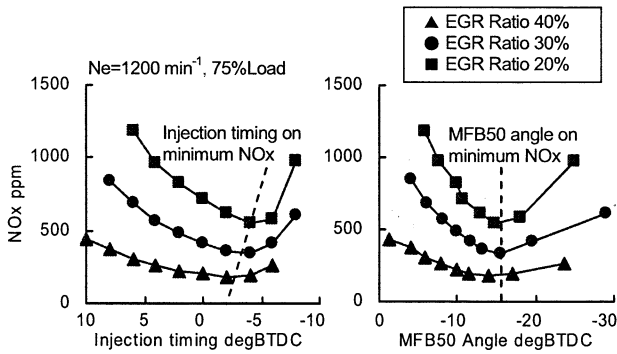


Fig.5 Comparison of minimum NOx characteristics between injection timing and MFB50 angle

(正)

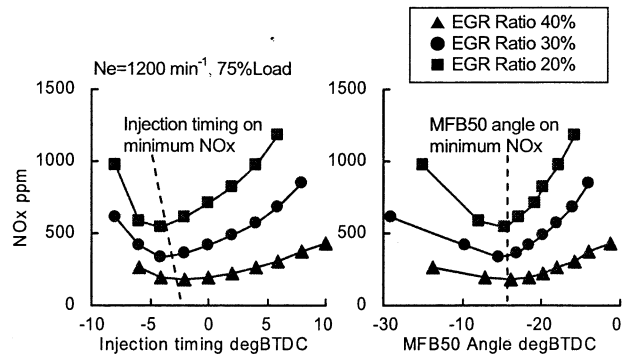


Fig.5 Comparison of minimum NOx characteristics between injection timing and MFB50 angle

(誤)

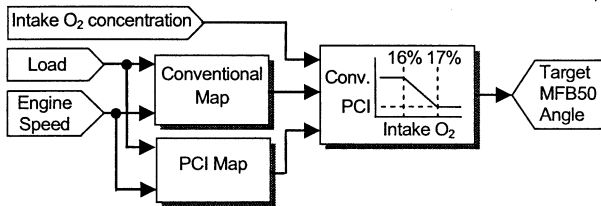


Fig.7 Control model for intake O2 concentration base MFB50 angle transition control

(正)

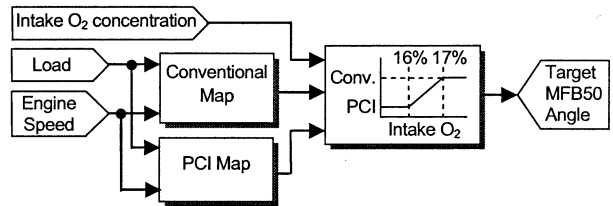


Fig.7 Control model for intake O2 concentration base MFB50 angle transition control